



製品型番： 3206

2次元バーコードスキャナー

取扱説明書

Ver. 01. 1. 02

目次

第一章 基本情報.....	02
使用説明.....	02
製品バージョン確認.....	03
製品デフォルトに戻す.....	03
起動音.....	04
デコード成功時のプロンプト音.....	04
キーボード言語設定.....	04
第二章 通信設置.....	06
有線接続手順.....	06
USB-COM仮想シリアルポート.....	06
第三章 スキャンモード.....	08
手動スキャンモード.....	08
自動検知スキャンモード.....	08
第四章 日本語バーコード.....	09
日本語を含むバーコードの出力.....	09
第五章 バーコード編集.....	10
大文字と小文字の変換.....	10
ターミネーター設定.....	11
第六章 バーコード種類別オン/オフ設定	
.....	12
全体設置.....	12
白黒反転したバーコード.....	12
QR URLコード設定.....	13
UPC-A.....	13
UPC-E.....	14

EAN-8.....	16
EAN-13.....	16
UPC/EAN/JANアドオンコード設定.....	17
CODE 128.....	18
GS1-128 (UCC/EAN 128).....	19
CODE 39.....	19
CODE 32.....	21
CODE 93.....	21
CODE 11.....	21
CODABAR (NW-7).....	23
INTERLEAVED 2 OF 5.....	23
MATRIX 2 OF 5.....	25
INDUSTRIAL 2 OF 5.....	25
MSI PLESSEY.....	26
GS1 DATABAR 14 (RSS-14).....	26
GS1 DATABAR LIMITED (RSS-LIMITED).....	26
GS1 DATABAR EXPANDED (RSS-EXPANDED).....	27
QR CODE.....	27
MICRO QR CODE.....	27
DATA MATRIX.....	28
PDF 417.....	28
MICRO PDF 417.....	28
AZTEC.....	29
MAXICODE.....	29

有線接続利用手順

A. パッケージに付属されたusbケーブルをパソコンのusbポートに差し込みます。

スキャナーと接続します。

B. スキャナーのトリガーボタンを押して、電源を入ります。

（リング式スキャナーは先に裏面の電源をオンにしてください。）

もう一回トリガーボタンを押して、赤い読み取りライトが出るかどうかを確認します。

C. パソコンのメモ帳を開きます。

D. メモ帳のカソールは点滅している状態に確認します。

E. 手元にあるバーコードをスキャンします。

データーをパソコンに伝送されたかどうかを確認します。

もし相変わらずだめなら、別のUSBポートに差し込んで見てください。

第一章 基本情報

使用説明

トリガースキャンモードで、バーコードをスキャンする手順は以下のようです。

1. トリガーボタンを引きっぱなし、定位線が起動させ、赤い定位線が出ます。
2. 定位線をバーコードの中心に合わせ、トリガーボタンを引きっぱなしにして、バーコードとの距離を調整し、最適なスキャン距離を見つけます。
3. 成功したプロンプトの音が聞こえ、赤色の定位線が同時に消えると、コードの読み取りが成功し、スキャナーはデコードされたデータをホストに送信します。

ご注意：

① バーコードの読み込み中、同じロットのバーコードに対して、スキャナーとバーコードの間の距離が一定の範囲内にあり、バーコードの読み取り成功率が非常に高くなることがわかります。この距離が最適な読み取り距離です。

バーコードの種類や精度によって、スキャン距離がこととなります。

② 設定コードをテストコードとして、勝手にスキャンしないでください。設定コードを混乱にスキャンすると、スキャナーが混乱に設定され、うまくご利用できない場合がございます。

③ 出品者まで連絡手順：

アカウントサービス>>注文履歴を開きます>>
「出品者」のリンクをクリックします>>詳細の
「出品者に連絡」をクリックします。

④ 当該製品はバーコードの前後に文字追加または前後の文字を隠す機能もございます。手順が少し複雑で、もしご要望する場合、お手数ですが、出品者まで連絡ください。要求も一緒に詳しく送信してください。

例えば：スキャンされたバーコードの写真/サンプルを添付します。

そして、入力したい結果も一緒に送信してください。

製品バージョン確認

バーコードスキャナーをご利用し、下の「製品バージョン」の設定コードをスキャンし、スキャナーのバージョン番号が確認できます。



製品バージョン

製品デフォルトに戻す



デフォルト設定に戻す

起動音

起動時のプロンプト音をオンまたはオフにします。



起動音オン



起動音オフ

デコード成功時のプロンプト音

デコード成功後のプロンプト音のオン/オフを設定します。

ご注意：

「デコード音オフ」の設定コードをスキャンしても、設定コードをスキャンする音がオフになりません。普通のバーコードのみオフになります。



デコード音オン



デコード音オフ

キーボード言語設定

さまざまな言語に対応するキーボードのキー配置と記号は同じではありません。スキャナーは、実際のニーズに応じてさまざまな国のキーボード標準に仮想化できます。キーボードレイアウトの設定はUSB-KBWインターフェイスモードに適用されます。デフォルトは「アメリカ英語」キーボードです。

ご注意：

例えば、「リンクを」スキャンする際に、「：」が「+」に置き換わってしまう場合、
方法1：スキャナーが出荷する際に、設定されたデフォルト言語は英語でございます、パソコンのキーボード言語（入力法）も英語に切り替えてください。
方法2：もし、パソコンのキーボードは日本語の場合、バーコードスキャナーの言語も日本語に設定してください。下の「日本語」の設定コードをスキャンしてください。



アメリカ英語



スペイン語



イタリア語



英国（イギリス英語）



フランス語



ドイツ語



日本語

第二章 通信設置

有線接続手順

1. パッケージに付属された純正usbケーブルをパソコンのusbポートに差し込みます。
スキャナーと接続します。
(ご注意USB変換アダプターを利用しないでください。)
2. スキャナーのボタンを押して、電源を入ります。
3. トリガーボタンを押して、読み取り線が出るかどうかを確認します。
4. パソコンのメモ帳を開きます。
5. メモ帳のカソールは点滅している状態に確認します。
6. 本に貼られたバーコードまたはペットボトルに貼られた1次元バーコードをスキャンします。

バーコードをスキャンする際のコツ：

ボタンを引きっぱなしにして、スキャン距離を調整してください。(スキャン角度も一緒に調整します。)
そうすると、一番読み取りやすい距離が見つくて、バーコードも読みやすく、正確でございます。

7. データーをパソコンに伝送されたかどうかを確認します。
8. データがうまく送信できない場合、別のパソコンのUSBポートまで差し込んでもう一回試してみてください。
9. 相変わらずダメなら、出品者まで連絡してください。

USB-COM仮想シリアルポート

スキャナーが USB で接続されているが、同時にパソコン側がシリアルポートを介してデータを受信することが予想される場合は、USB 仮想シリアル ポート方式を使用する必要があります。この機能を使用するには、

ホストに適切なドライバーをインストールする必要があります。

普通にWindows7はドライバーが必要で、Windows10が必要ではないです。

ご注意：

USB-COM仮想シリアルポートに設定されると、スキャンされたデータは仮想シリアルポートツールのみに伝送し、パソコンのメモ帳やエクセルなどに伝送することができません。

再びメモ帳やExcelに入力したい場合、「デフォルト設定に戻す」の設定コードをスキャンしてください。そして、USB線を一回USBポートから抜き出して、もう一回差し込んでください。



USB-COM

第三章 スキャンモード

手動スキャンモード

必要に応じてスキャナーの読み取りモードを設定できます。デフォルトの認識読取モードは手動認識読取であり、トリガキーが押された後にコード読み取りを開始し、コード読み取りに成功したか、トリガキーが離された後にコード読み取りを停止するモードです。デフォルトの読取モードは「手動スキャンモード」です。



手動スキャンモード*

自動検知スキャンモード

本機の電源を入れてコード読み取り状態にし、コード読み取りが成功するか、コード読み取りタイムアウトに設定された時間に達するまで、コードの読み取りを停止します。新しいバーコードが表示されると、再び読み取り状態になります。このモードでは、同じバーコードが複数回読み込まれるのを防ぐことができます。



自動検知スキャンモード

第四章 日本語バーコード

日本語を含むバーコードの出力

ご注意：

ご利用されたパソコンのバージョンが
WINDOWS10の場合、先にパソコンを「以前のバージョンのMicrosoft IME」まで設定するのがおすすめいたします。

アイパッドやスマホへの日本語を含むバーコードの出力がサポートしません。

1. インターフェース：エクセル/メモ帳

パソコンいシステム言語：日本語

キーボード言語：日本語

設定コード：



日本語JISコード



メモ帳入力

2. インターフェース：Word

パソコンいシステム言語：日本語

キーボード言語：日本語

設定コード：



日本語JISコード



Word入力

第五章 バーコード編集

大文字と小文字の変換

スキャナーの大文字小文字変換機能を設定することで、スキャナーの出力データの英字の大文字と小文字を変換することができます。

例：バーコードの内容が aBC123 の場合、スキャナーを「すべて小文字」に設定すると、取得されるデータは「abc123」になります。デフォルトは「変更なし」です。

ご注意：

このパラメーターは、標準キーボード入力モードおよびキーボード エミュレーション入力制御文字モードでのみ有効です。



変更なし*



すべて大文字



すべて小文字



大文字と小文字
を逆にする

ターミネーター設定



ターミネーターなし



<CR> (0x0D) ターミネーター



<LF> (0x0A) ターミネーター



<CR><LF> (0x0D, 0x0A)* ターミネーター



<HT> (0x09) ターミネーター



<ETX> (0x03) ターミネーター

第六章 バーコード種類別オン/オフ設定

バーコードの種類ごとに固有のプロパティがあり、この部分の設定コードを使用して、これらのプロパティの変更を調整できます。「読み取り可能（オン）」を有効にしたバーコードの種類が少ないほど、スキャナーはより速く読み取ります。スキャナーの動作パフォーマンスを向上させるために、スキャナーが使用されていないバーコードタイプを読み取らないようにすることができます。

全体設置



すべてのバーコードオン

すべてのバーコードオフ

ご注意：

「すべてのバーコードオフ」に設定しても、設定コードが読み取れます。

白黒反転したバーコード

正相バーコード：背景は白、コード部は黒

逆相バーコード：背景は黒、コード部は白



正相バーコードオン*

正相/逆相バーコードオン

QR URLコード設定

以下の設定コードをスキャンし、URLコードのオン/オフが設定できます。



URLコードオン



URLコードオフ

UPC-A

UPC-Aの許可/禁止



UPC-Aオン*



UPC-Aオフ

チェックデジット文字転送

UPC-Aバーコードデータは12文字に固定され、12ビット目は12文字すべての正確性を検証するためのチェックデジット文字であり、デフォルトではチェックデジット文字を転送します。



チェックデジット
転送*



チェックデジット
非転送

システム文字/国コード伝送



システム文字
伝送*



システム文字非伝送

EAN-13に変換

UPC-Aバーコードタイプは拡張設定をサポートしています。拡張をオンにすると、バーコード情報は13ビットに変換され、先頭に「0」が付加され、タイプはEAN-13に変換されます。デフォルトでは変換されません。



UPC-AをEAN-13に変換



UPC-AをEAN-13に非変換*

UPC-E

UPC-Eの許可/禁止



UPC-Eオン*



UPC-Eオフ

チェックデジット文字転送

UPC-Eバーコードデータは8文字に固定され、8ビット目は8文字すべての正確性を検証するためのチェックデジット文字であり、デフォルトではチェックデジット文字を転送します。



チェックデジット
文字伝送*



チェックデジット
文字非伝送

システム文字/国コード伝送



システム文字
伝送*



システム文字非伝送

UPC-Aに変換

UPC-Eコードタイプは拡張設定をサポートしています。拡張をオンにすると、バーコード情報は12ビットに変換され、タイプはUPC-Aに変換されます。デフォルトでは変換されません。



UPC-EをUPC-Aに変換



UPC-EをUPC-Aに非変換*

EAN-8

EAN-8の許可/禁止



EAN-8オン*



EAN-8オフ

EAN-13

EAN-13の許可/禁止



EAN-13オン*



EAN-13オフ

ISBNに変換



EAN-13をISBNに変換



EAN-13をISBNに非変換*

ISSNに変換



EAN-13をISSNに変換



EAN-13をISSNに非変換*

UPC/EAN/JANアドオンコード設定

アドオンコードとは、UPC/EAN/JANのバーコードの後に追加される2桁または5桁のバーコードを指し、下図のように、左側が通常のバーコード、右側がアドオンコードです。デフォルトではアドオンコードをオフにします。





2 / 5桁アドオンコード
オン



2 / 5桁アドオンコード
オフ*



適応 2 / 5桁アド
オンコード

「2 / 5桁アドオンコードオン」を設定しますと、アドオンコードが付いていないバーコードが読み取れません。

「適応 2 / 5桁アドオンコード」を設定しますと、アドオンコードがあってもなくてもすべて読み取れます。

Code 128

Code 128の許可/禁止



Code 128 オン*



Code 128 オフ

GS1-128 (UCC/EAN 128)

GS1-128の許可/禁止



GS1-128オン*



GS1-128オフ

Code 39

Code 39の許可/禁止



允许识读Code 39*



禁止识读Code 39

チェックデジット

Code 39バーコードにはチェックデジットは強制的に含まれません。チェックデジットがあれば、データの最後の1文字です。チェックデジットはすべてのデータから計算された値であり、データが正しいかどうかを検証します。必要に応じてチェックデジットをオンまたはオフにし、チェックデジットを送信するかどうかを設定できます。デフォルトは「チェックデジットを伝送しない」です。



チェックデジットオフ



Mod 43チェックオン/
チェックデジット転送



Mod 43チェックオン/
チェックデジット非転送*

Full ASCII認識

コード39データにはすべてのASCII文字を含めることができるが、スキャナーはデフォルトでASCII文字の一部のみを認識し、設定によりASCII文字全体を認識する機能をオンにすることができる
デフォルトは「Full ASCII一部のみ認識」です。



Full ASCII
全体認識



Full ASCII
一部のみ認識*

Code 32

Code 32の許可/禁止

Code 32すなわちCode 32 Pharmaceutical、イタリアの薬局で使用されるCode 39バーコードの一種です。このバーコードはPAAFとも呼ばれます。



Code 32オン



Code 32オフ*

Code 93

Code 93の許可/禁止



Code 93オン*



Code 93オフ

Code 11

Code 11の許可/禁止



Code 11オン



Code 11オフ*

チェックデジット設定

Code 11バーコードにはチェックデジットがあり、データの最後の1文字または2文字であります。チェックデジットはすべてのデータから計算された値であり、データが正しいかどうかを検証します。



チェックデジットなし*



1桁チェックデジット



2桁チェックデジット

チェックデジット転送



チェックデジット転送



チェックデジット
非転送*

Codabar (NW-7)

Codabarの許可/禁止



Codabar オン*



Codabar オフ

スタート/ストップ文字



スタート/ストップ
文字転送



スタート/ストップ
文字非転送*

Interleaved 2 of 5

Interleaved 2 of 5の許可/禁止



Interleaved 2 of 5
オン*



Interleaved 2 of 5
オフ

チェックデジット転送

Interleaved 2 of 5 バーコードには、チェックデジットを含む必要はありません。チェックデジットがある場合、それはデータの最後の文字です。チェックデジットは、データが正しいかどうかを検証するために、すべてのデータに基づいて計算された値です。必要に応じてチェックデジットを有効または無効にし、チェックデジットを転送するかどうかを設定できます。

Interleaved 2 of 5バーコードの桁数は必ず偶数です、チェックデジット含みます。もし桁数は奇数の場合バーコードの一番前に0を補います。

デフォルトは「チェックデジットオフ」、「チェックデジット非転送」です。



チェックデジットオフ*



チェックデジットオン/
転送



チェックデジットオン/
非転送

チェックデジットを転送しないように設定した場合、データ長が1バイトを差し引いてから、最小読み取り長さの制限より小さいと、読み取りは失敗します。たとえば、現在のスキャナー設定では Interleaved 2 of 5 の最小読み取り長は4バイトで、チェックデジットは転送されません。この時点で4バイトの Interleaved 2 of 5 を読み込むことに失敗します。

Matrix 2 of 5

Matrix 2 of 5 の許可/禁止



Matrix 2 of 5 オン*



Matrix 2 of 5 オフ

Industrial 2 of 5

Industrial 2 of 5 の許可/禁止



Industrial 2 of 5
オン*



Industrial 2 of 5
オフ

MSI Plessey

MSI Plesseyの許可/禁止



MSI Plesseyオン



MSI Plesseyオフ*

GS1 DATABAR 14 (RSS-14)

GS1 DataBar 14の許可/禁止



GS1 DataBar 14オン*



GS1 DataBar 14オフ

GS1 DataBar 14はGS1 Databar Omnidirectional、RSS-14とも呼ばれます。

GS1 DataBar Limited (RSS-Limited)

RSS-Limitedの許可/禁止



RSS-Limitedオン*



RSS-Limitedオフ

GS1 DataBar LimitedはRSS-Limitedとも呼ばれます。

GS1 DataBar Expanded (RSS-Expanded)

RSS-Expandedの許可/禁止



RSS-Expanded オン*



RSS-Expanded オフ

GS1 DataBar ExpandedはRSS-Expandedとも呼ばれます。

QR Code

QR Codeの許可/禁止



QR Code オン*



QR Code オフ

Micro QR Code

Micro QR Codeの許可/禁止



Micro QR Code オン*



Micro QR Code オフ

Data Matrix

Data Matrixの許可/禁止



Data Matrixオン*



Data Matrixオフ

PDF 417

PDF 417の許可/禁止



PDF 417オン*



PDF 417オフ

Micro PDF 417

Micro PDF 417の許可/禁止



Micro PDF 417オン*



Micro PDF 417オフ

Aztec

Aztecの許可/禁止



Aztecオン*



Aztecオフ

MaxiCode

MaxiCodeの許可/禁止



MaxiCodeオン



MaxiCodeオフ*